

令和3年10月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和3年10月26日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時25分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
学校教育部長	谷岡哲郎	生涯学習部長	小坂正樹
教育企画総務課長	重河啓子	教職員課長	齋藤靖
教職員課課長補佐	政久英生	指導課長	田中光彦
指導課教育支援担当課長	一守和弘	指導課教育支援室室長	永井正博
指導課課長補佐	林俊雄		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課指導主査)	松岡孝佳
5 議題及び結果			
	なし		
6 教育長等の報告 [令和3年9月17日(土)～令和3年10月8日(金)]			
9/17	教育長学校訪問		教育企画総務課
9/21	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
9/22	教育長学校訪問		教育企画総務課
9/22	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
9/24	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
9/25	自然体験リーダー養成講座 STEP1		地域子育て支援課
9/28	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
9/29	教育長学校訪問		教育企画総務課
9/29	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課
9/30	子どもが輝く学びづくりプロジェクト		指導課

10/1	教育長学校訪問	教育企画総務課
10/1	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
10/6	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課
10/7	教育長学校訪問	教育企画総務課
10/8	教育長学校訪問	教育企画総務課
妹尾委員 教育長	<p>○ 学校訪問の様子をお伺いしたい。</p> <p>○ たくさん訪問したので大まかにお話する。まず彦崎小学校である。ここは、灘崎町が岡山市と合併した年に教頭で赴任したところである。2年間教頭をしたので学区の様子はよく分かっている。ここはレックタウンという団地があり、新しく転入されたご家庭が多いようである。そこで私の在任中はできなかったが「彦崎貝塚」をもっと使ってしっかり地元愛を醸成してくださいというお願いをしてきた。校長も自分がトップダウンでいろいろ言うのではなく、ボトムアップでいろいろ頑張っているという話をされていた。不登校で心配な子がいるが頑張って学校運営をされている。</p> <p>次の古都小学校であるが、彦崎小学校と同様でとても学校がきれいで、本当に整備が行き届いている。ブドウ農園が多い地域で、農業を営んでおられるご家庭が多い学区であるが、お父さんお母さん世代は外で働いているというご家庭が多いようだ。しっかり家庭学習でやる気を引き出していきたいとのこと。どちらかというメディアコントロール等で生活習慣を改善していくということ頑張っているとのことであった。教育大綱の関連では、一番に言われたのが向上心である。5つの力のうちの向上心をつけさせたいと。失敗を怖がる子どもが多くて、尻込みをしてしまうということであった。</p> <p>次は蛍明小学校である。ここも新しい校舎であるので当然綺麗なのだが、しっかりそれを維持している。足守中学校の敷地内に一緒にあるが、ちょうど今年創立10周年という節目の年を迎えている。家庭学習の中では自主学習に非常に力を入れていると言っておられた。小規模学校ではあるのだが、新採用の教員がおり、教員や講師も含めて若い職員が多いので、校長と教頭でしっかり指導をしているということであった。若い教員はどちらかという個のほうにばかり目がいって、全体を見る力に課題があるので、努めてまず全体、そして個を見なさいという指導の仕方で行っているということであった。</p> <p>次は藤田中学校であるが、ここも非常にきれいな学校でよく整っていた。授業研究を特に力を入れてやっていて、教育大綱で何に力を入れるかと問うと「授業である」と校長が即答されるくらい頑張っているとのことであった。藤田中学校区は中学校区全体で学力向上に取り組んでいて、E S D の取組も小学校も中学校も頑張っているのも、そういう「総合的な学習の時間」から新しい学力観に向かえばと思っている。</p> <p>次が清輝小学校である。清輝小学校は、校舎がとてもきれいで本当に掃除が隅々まで行き届いていた。全国学力・学習調査では、学年によってはかなり学力が上がってきているとのことであった。小規模校であるが、これまでの教職員の尽力に本当に敬意を表したいなという思いが強い。パソコンを使った授業では、例えばテストが済んだらパソコンを広げて自分で問題を解いたり何かを検索するといったこともできていたし、非常に楽しんで勉強しているなという姿がうかがえた。その秘密は何かということであるが、清輝小学校は昔から教員の自治が非常に進んでおり、校長のトップダウンよりも教員たちでいろいろ決めていくという強いところがあり、やはり子どもたちを何とかしようというボトムアップの意識が非常に強く、そういうことが成績にもつながっているのかなと言われていた。新しいやり方も取り入れてしっかりやるということも言っておられた。コミュニティ・スクール発祥の地であり、地域は非常に協力的である。町内も連合町内会長さんも全面的に協力してくださっているようである。</p> <p>それから最後、竜操中学校である。ここは非常に大きな学校である。今年も</p>	

きっと岡山市で一番規模の大きい中学校だろうと思う。中央の校舎は向こう側が見えないくらい長い廊下を歩かないといけないというくらい大きな学校であった。校長は教職員たちにかかる言葉を非常に工夫されていて、しかも上手にやる気を起こさせるような、そういう投げかけをたくさんされている。やはりいろんなことで悩む教職員が多いんだろうけれども、そこを上手に力を合わせて抜け出していこうという体制を取られている。いろんなアイデアを持って特に授業を大切にしている。校長は竜操中学校赴任前は小学校の校長であったが、その経験が生かされているということも話をされていた。広い学区であるが、地域の方が子どもたちの応援団になっていて非常に助かっているとのこと。この度「学プロ」の該当校になっているのだけれども、そこで道徳を取り入れてみんなで道徳を基盤にして研究を深めていこうということを言われていた。竜操中学校も教育大綱の5つ力の中では向上心というのを言われていた。子どもはやる気のエンジンを起動させられれば、しっかり動いていけるということを言われていた。これは子ども同士の間関係づくりなのだろうが、クラスの班長会というのをしっかり持って、子どもから変わろうとするというか、そういう力を促していきたいというようなことを言われていた。不登校については、大きい規模の割には人数が少ないとはいえ、苦慮しているとのことであったが、よく頑張られているなど思っている。

以上、簡単であるが。タブレットは、1学期に比べればどの学校もよく使っていると思った。学校行事については、今年もやはり縮小しながらなんとか行っているけれども、コロナ禍前のようなことはなかなか難しいというのが正直なところのようである。

石井委員

○ 幾つかお話しいただいた、学力が向上してきているというのは非常にいいことだなと思うが、全体的にも真ん中に寄っていつている、そういうような傾向と考えたらよいのか。

教育長

○ 学力状況調査そのものがだんだんそういう傾向にあるので、恐らく岡山市もその例に漏れないと思う。

石井委員

○ 校長の運営の仕方というところで、民間企業でも、最近トップダウンではなかなかうまくいなくてフラットになったり、ハラスメントの問題もいろいろあるので、そういう仕組みになっていつているのだが、学校も今お伺いしていると、リーダーシップの在り方というのはかなり変わってきているという理解でよろしいか。

教育長

○ もともと教職員の世界は鍋蓋組織ということで、校長、教頭、以下というような組織ではあったのだが、やはり私が教育長になってからいつも思っていたこととして、我々教育委員会が考えていることや校長が考えていることが廊下までは行くけれども、なかなか教室に入らない。そういうことをよく感じていた。しかし最近は校長が教職員たちをその気にさせているなどというのを感じている。つまり教育大綱もまだまだ認知度というのは低いところはあるのだけれども、しっかりその認知をする時間を取り教職員と一緒に考えていく。校長が何か学校経営をするときに考えてこうなさいということではなくて、こういうことがあるのだけれどもみんなどう思うかなということからスタートしている。そういうのが顕著になってきている。我々もそのように話をしてきたし、特にこれからの時代はもしかしたら校長や教頭は古いかもしれないので、しっかり若い教職員に活躍してもらいたいし、自らその気になってもらうというのが大切なかなと思った。

河内委員

○ 蛍明小学校がもう10年になると聞くと、早いなと思ったが、教育委員会の大きな目玉として小・中の一体型施設となる学校を建築して、一層小・中連携を深めていくという施策のその評価というか、それが10年たってどうなのか。それによって、蛍明小学校は中学校と連携したらあんなに違うとそこはどうなのかと感じているのだが、いかがか。

教育長

○ その観点では尋ねてこなかったのですが詳しくは聞いていないのだが、まだ今、

<p>河内委員</p> <p>教育長 全委員</p>	<p>河内委員が言われたような意識ではなくて、小学校・中学校一緒に生活しているのを十分に生かし切れているとはなかなか言えない。子どもたちはそれなりに成長しているのだろうけども、何か我々も学校任せにしていた部分もあるかもしれないが、これが成果だというようなことがなかなか見つけ出しにくいなというのを感じた。</p> <p>○ やはり10年も経つてくるとマンネリ化して、当初の目的とか目標とかそういうものがなかなか忘れがちとか何というか、それをさらに良くしていくことの継承というのが非常に難しいのかなというような気もする。</p> <p>○ それでは、ほかの行事はよろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>
--------------------------------	--

<p>7 議事の概要</p>	
<p>教育長</p> <p>教育長 全委員 教育長</p> <p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p>	<p>○ それでは、定刻が参ったので、10月の教育委員会定例会を開会する。傍聴希望者はいない。</p> <p>○ 日程第1、会期についてであるが、本日1日限りとしてよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 本日1日限りとする。</p> <p>日程第2であるが、こちらに9月の定例会の議事録があるので、これを順次ご覧いただいて、問題がなければご署名をお願いします。</p> <p>続いて、日程第3、事業報告をご覧になって何か質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)</p> <p>○ それでは、報告を終わり、議事に入る前に会議の公開、非公開についてお諮りをする。</p> <p>日程第4の第19号議案教育事務に関する議会の議案等についての市長への意見の申出に関する事項として会議規則第7号第1項第3号に該当するため、また第20号議案は任免、賞罰等職員の身分取扱いその他人事に関する事項として会議規則第7条第1項第1号に該当するため、非公開としたいと思うが、いかがであるか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、日程第4の第19号議案、第20号議案は非公開と決定する。</p>

<p>傍聴の状況</p>		
<p>報 一</p>	<p>道 般</p>	<p>0名 0名</p>

令和3年10月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和3年10月26日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時25分	
	閉会	14時50分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	妹尾直人	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	荻野拓志	教育次長	奥橋健介
学校教育部長	谷岡哲郎	生涯学習部長	小坂正樹
教育企画総務課長	重河啓子	教職員課長	齋藤靖
教職員課課長補佐	政久英生	指導課長	田中光彦
指導課教育支援担当課長	一守和弘	指導課教育支援室室長	永井正博
指導課課長補佐	林俊雄		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課指導主査)	松岡孝佳
5 議題及び結果			
第19号議案	市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について		原案可決
第20号議案	岡山市立学校教職員の人事について		原案可決